マテリアリティへの取り組み

マテリアリティ		リスクと機会	SDGsとの関係	目指す姿	中期経営計画2025指標	実績 2023年度	実績 2024年度	実績 2025年度	取り組み事例
脱炭素社会実現への貢献	リスク	●出力制御や制度変更、自然災害に伴う再エネ事業の収益変動 ●顧客の脱炭素化ニーズへの対応遅れによる機会損失	7, 13	再生可能エネルギー分野における事業領域の拡大と、顧客のカーボンニュートラル移行を支援するソリューションの提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献	• 再生可能エネルギー発電設備容量確保1GW（2025年度）	590MW	708MW	1,185MW	• MMパワー合同会社によるジャパン・インフラファンド投資法人投資口に対する公開買付けの開始並びにみずほリース㈱によるジャパン・インフラファンド・アドバイザーズ㈱の株式取得及び業務提携契約締結に関するお知らせ • 武雄蓄電所の商業運転開始について ～系統安定化ニーズの高い九州エリアにおける系統用蓄電池の取り組み～ • FIP制度を用いたバーチャルPPAに関する基本合意書を締結 ～データセンターの再エネ利用促進～
	機会	●再生可能エネルギー等環境関連分野の事業領域拡大 ●サプライチェーンの脱炭素化に伴う新たなビジネス創出			• SCOPE 1，2 CO_2排出量削減※ 排出量ゼロ（2030年度） ※単体および国内連結子会社7社	22%（2016年度比）	22%（2016年度比）	17%（2016年度比）	
健康で豊かな生活への貢献	リスク	●先進医療機器や次世代サービスへの対応遅延による市場開拓機会の喪失	3, 11	多角的なアプローチとテクノロジーの活用を通じて、健康・医療に関する課題を解決し、人々の豊かで安心な暮らしに貢献	—	—	—	—	• 手術支援ロボットを開発するリバーフィールドへの投資実行 ～みずほリースCVCファンドを通じての出資～ • 心臓リハビリプログラム医療機器を開発するCaTeへの投資実行 ～みずほリースCVCファンドを通じての出資～
	機会	●次世代医療・ヘルスケア分野での投資需要の増加 ●医療・介護施設等に向けた不動産ソリューションニーズの拡大							
生活を支える社会基盤づくりへの貢献	リスク	●働き方やライフスタイルの変化に伴う既存アセットの陳腐化 ●インフラ老朽化や事故・災害被害に伴う事業活動の停滞リスク	9, 11, 13	不動産や航空機・船舶等の多様なアセットに対するソリューション提供により、持続可能で安心・安全な社会インフラ整備に貢献	—	—	—	—	• 豪州における賃貸集合住宅開発事業への参画について • Star Asia Group LLCとの資本業務提携及び第三者割当増資引受けによる同社持分取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ
	機会	●物流需要の拡大やデジタル化に伴う設備投資ニーズの取り込み ●インフラ更新・強靭化に伴う投資需要の拡大							
循環型経済の牽引	リスク	●制度整備や市場形成の遅れによる事業展開への影響 ●「所有から利用へ」の社会変化に伴う需要への対応遅れ	12, 13	動脈・静脈産業の結節点として、当社ならではのモノと商流に関する知見を活かした資源循環プラットフォームを構築し、循環型社会の実現を牽引	• ケミカルマテリアル資源循環率85%以上（2027年度）	80.5%	84.3%	85.5%	• アルミニウムのサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みについて ～日本初となる廃トラック架装におけるクローズドループ構築に挑戦～ • みずほ銀行の使用済みPC約4万台をITADサービスにより国内で再資源化 ～ITAD活用による情報セキュリティと資源循環の両立～
	機会	●資源制約や環境規制強化に伴う資源循環ニーズの拡大 ●モノの利用価値・方法の変化に伴う新たな事業機会の創出							
テクノロジーによる新しい価値の創出	リスク	●急激な技術革新に伴う既存ビジネスや保有資産の陳腐化 ●サイバー攻撃等による情報漏えいや事業停止リスク	8, 9	社会構造の変化やテクノロジーの進展を見据え、デジタル技術を活用したソリューションの提供を通じて、社会と顧客に新たな付加価値を創出	• デジタルIT人財の育成200名以上（2025年度）	280名	337名	340名	• 量子コンピュータのアルゴリズム・ソフトウェアの研究開発を行う㈱Quemixへの投資実行 ～みずほリースCVCファンドを通じての出資～ • CO_2分離膜を開発するスタートアップである「OOYOO」への投資実行 ～みずほリースCVCファンドを通じての出資～
	機会	●企業のDX・省人化に向けたテクノロジー投資需要の拡大 ●デジタル技術を活用した革新的なビジネス・新サービスの創出							
あらゆる人が活躍できる社会・職場づくり	リスク	●人的資本への投資不足や労働環境の悪化に伴う人財流出・競争力の低下	4, 5, 8, 10	多様な人財がそれぞれの専門性と個性を最大限に発揮し、協働しながら、新たな価値創出にチャレンジし続ける組織風土を醸成	• 専門ビジネス人財の拡充＋80名超（2025年度）	＋26名	＋47名	＋89名	• 本社オフィス移転 • みずほリース本社オフィスが第39回日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞 ～多様な交流と新たな価値創造を生み出す共創拠点～ • シーメンスヘルスケア㈱と共同で社員向け「乳がん検診のギモンを解くセミナー」を開催 ― 健康啓発を目的とした連携施策 ―
	機会	●多様な人財の獲得、専門人財の確保・育成による組織力向上 ●エンゲージメント向上による組織の活性化			• 人財育成のための投資額3倍以上（2025年度／2022年度比）	2.03倍	2.93倍	3.18倍	
					• 有給休暇取得率80%以上（2025年度）	70.8%	74.6%	76.1%	
					• 女性管理職比率15%（2025年度）	11.6%	13.0%	15.6%	
					• 男性の育児休暇取得率100%（毎年）	100.0%	100.0%	100.0%	